



～つくばエクスプレスは今年で開業 20 周年～

TX つくばエクスプレス

2025年 4月11日(金)
首都圏新都市鉄道株式会社

つくばエクスプレス中期経営計画（2025～2029 年度）を策定

テーマ

安心と信頼の鉄道輸送の堅持と沿線価値共創のための基盤づくり
～沿線とともに成長し、世代を超えて愛される TX へ～

つくばエクスプレス(TX)を運営する首都圏新都市鉄道株式会社(代表取締役社長 渡邊 良、本社:東京都千代田区)では、「中期経営計画(2025～2029 年度)」を策定いたしましたので、お知らせします。

1 中期経営計画の概要

TX は、2025 年 8 月、開業から 20 年を迎えます。今後とも、「安全・安定・安心」輸送の維持・向上を図り、リスク管理と安全管理体制の強化、予防保全による鉄道設備等の経年劣化等への対応等により、お客様に安心と信頼の鉄道輸送を提供していきます。また、今後の沿線地域のさらなる成長や沿線価値の向上に向けた、地域の関係者との連携強化のための基盤づくりに取り組みます。

こうした取り組みを通じて、将来にわたり沿線とともに成長し、世代を超えて愛される鉄道でありたいという思いを込めて、本計画のテーマを「安心と信頼の鉄道輸送の堅持と沿線価値共創のための基盤づくり～沿線とともに成長し、世代を超えて愛される TX へ～」と設定しました。

また、本計画の基本方針は、「リスク管理と予防保全により、安心と信頼の鉄道輸送を提供します」、「豊かな暮らしを支えるサービスの提供に努めます」、「沿線地域をつなぐ鉄道として、地域と共に沿線価値のさらなる向上に取り組みます」、「持続的な事業運営のため経営基盤の強化を図ります」の4つとし、各基本方針に基づく主な取り組みをとりまとめています。

主な取り組みは以下のとおりで、その実施にあたり、5 年間で 660 億円の設備投資を計画しています。

- ①鉄道輸送関連 : リスク管理と安全管理体制の強化、予防保全による設備更新等の実施、
防災・鉄道セキュリティ対策の強化等
- ②サービス関連 : 混雑緩和対策の実施、お客様の利便性・快適性の拡充等
- ③沿線価値の共創関連 : 沿線地域との連携強化のための基盤づくり、駅機能や保有資産の活用等
- ④経営基盤関連 : 人的資本投資の強化、財務基盤の強化、ガバナンスの強化等

2 乗車人員・経営指標の見込み

TX の沿線人口は当面増加が見込まれる一方、コロナ禍を経て、働き方や生活スタイル等の変化が定着しています。こうした状況を踏まえ、2029 年度には、一日平均乗車人員約 41 万人、営業収益 538 億円、経常利益 74 億円と見込んでいます。

	2023 年度 実績	2024年度 実績 (暫定値)	2029 年度 見込み
乗車人員	38.3 万人/日	40.2 万人/日	40.8 万人/日
営業収益	452 億円	476 億円	538 億円
営業損益	86 億円	92 億円	98 億円
経常損益	63 億円	67 億円	74 億円

詳細につきましては、(<https://www.mir.co.jp/company/plan.html>)をご確認ください。

以 上